

平成23年8月20日

「一わたしの主張－村上・岩船地区大会」 講 評

村上市立村上小学校長 山口 又一郎

皆さんこんにちは。審査委員長をおおせつかりました、村上小学校の山口又一郎と申します。

この「一わたしの主張－村上・岩船地区大会」に、当郡市内の全中学校及び県立中等学校から選出された〈代表11名〉の皆さんに、1520名余りの代表として、大変すばらしい発表をしていただきました。

只今、その発表について、審査員6名で慎重に審査をいたしました。まず、その結果について発表をいたします。

優秀賞は二人です。

6番 「小さな思いやりを大切に」 村上中等学校 3年 加藤 萌 さん

9番 「部活で学んだこと」 栗島浦中学校 3年 渡邊 幸男 さん でした。

そして、みごと最優秀賞に輝きましたのは

11番 平林中学校 3年 高野 麻希子 さんの

「誇らしい伝統 ～全校で取り組むエコキャップ運動～」に決定しました。

おめでとうございます。

発表について、簡単に全体的な講評を述べさせていただきます。

はじめに、今年3月11日に発生した東日本大震災。私達が、かつて経験したことのない、予想をはるかに超えた揺れと大津波に呑み込まれ、数多くの死者と行方不明者を出しました。家族や友人・知人などを亡くし、さらには家や働き場所なども全て津波に呑み込まれ、街や集落そのものが壊滅してしまう大災害でありました。そればかりか、破壊された福島原発からの放射能漏れが及ぼした影響は、地域住民の避難だけにとどまらず、農業、水産業、畜産業などに携わる人々に、計り知れない打撃を与え、その復興には、数多くの難問を抱えた状況にすらあります。

しかし、被災地の人々は、この未曾有の災害から、歯を食いしばって復興のため立ち上がろうとしています。そして、日本中の多くの人々から、いや世界の人々から、熱い救援のエールや物資、そして多くのボランティアや支援行動が展開されてきています。

未曾有の災害であったが故に、これほど国民の誰もが「支え合い、絆、命、家族」の大切さというものを、身をもって感じことはなかったことでしょう。

今回の発表には、この大震災を教訓にした発表が数点ありました。そこから学んだ「命の大切さ、助け合うことの大切さ、思いやる心の大切さ」などが、また、被災した人達への思いから、自分達にできることを行動で現わした体験などが、中学生の「目で、心で」受け止めた、新鮮で温かく、共感と説得力のある発表がなされていました。

また、大震災が中学生の皆さんに投げかけた思いは様々だったことでしょう。その他の主張でも、「家族との絆」、「人を気遣う思いやり」、「消すことのできない地域の伝統行事」、「今、本気で精一杯取り組んでいる部活動や生徒会活動」など、自分を取り巻く生活場面から体験として感じられた問題を、まっすぐな想いで受け止めていました。

中学生らしい新鮮な感覚で、広く、深く周囲を見つめ、自分の考え方や行動を見直したり、周りの人を思いやったり、自分の将来やこれからの社会を展望したりして、前向きに自分の生き方を切り拓いていこうとする強い姿勢が主張されていました。中でも、「小さなことからでも積み重ねることの大切さ」や、「本気になって取り組んで得たもの」、また「心一つにして取り組んだ絆の重み」などの主張が心に残りました。

どの発表も、澄んだ目で自分や周囲を見つめ、これからの自分に自信と誇りを持って進もうとする堅い決意の主張になっており、私たち大人が、中学生の皆さんから学ぶべきことが大きかったという想いを強くいたしました。

発表の仕方や態度については、ほとんど原稿を見ないで、間をとりながらも熱く想いを主張し、気持ち込めて聴き手に訴えるなど、それぞれの発表者が、自分なりの持ち味を発揮した主張で、聴き手を引きつけていました。特に、最優秀賞や優秀賞に輝いた発表では、言葉をはっきり伝え、抑揚を付けながら、聞き手を引きつける発表が光っていました。

審査のポイントになったのは、内容面では、①中学生らしい鋭い感性で新鮮な主張であったか、②個人の体験にとどまらず一般性・社会性が見られたか、③実現・実践に向けて強い意欲が感じられたか・・・などでした。

発表面では、①話しぶりの熱意や迫力、説得力があったか、②主張内容に共感や感銘を与えていたかなどです。

それらの総合的な面からの評価となりました。

発表された皆さんには、今日の想いをしっかり持ち続け、自分のために、そして地域や社会のためにできることを進んで挑み、これからの人生を力強く切り拓いていってほしいと願っています。

最優秀賞に輝いた平林中学校の高野さんには、村上・岩船地区の代表として、9月に開催される県大会の発表で、堂々とした発表を期待しています。

最後に、各学校で指導に当たられました先生方、本当にありがとうございました。また、本日お越しいただきました保護者、地域の皆様、関係各位に深く感謝を申し上げまして、全体講評とさせていただきます。